

校長室だより

すきです 白峰

スローガン

「すきです 白峰, 学び合い, 高め合い, 世界に発信」



学力の安定・向上に向けて



チャレンジタイム

25分 プラス の共通実践

毎週水曜日 午後1時20分～45分

プラス「放課後学習」(校長室で〇まる)



全教員、全学年で工夫した取り組みを行っています。
いつでもご来校いただきご覧ください。



皆出席, すばらしい! すごいぞ!

2 学期 **なんと 22 名** (〇は 1-2 学期を通して皆出席 14 名)

- | | | | |
|-------------|----------|----------|----------|
| 1年 ○織田 恵さん | ○下 照英さん | 殊才 凰作さん | 西川 剣さん |
| 2年 ○織田 千晴さん | 林 俊太さん | | |
| 3年 ○下 こと葉さん | ○尾田 柚稀さん | ○山本 銀人さん | 永井 夏喜さん |
| 4年 ○風 勇太さん | ○加藤 愛楽さん | ○高桑 光希さん | 織田 真さん |
| 5年 ○下 康生さん | | | |
| 6年 ○織田 心さん | ○風 健太さん | ○小田 麻白さん | ○永吉 大葉さん |
| 杉田 天生さん | 西川 くるみさん | 山下 勇真さん | |

「学校を休まない」子どもの育成にご家庭共々ご理解をいただき心より感謝申し上げます。今後も「魅力ある学校」「いつも行きたくなる学校」、そして、「元氣いっぱい」の学校「作りに尽力いたします。」

大きな5つの幸せ! 今年を振り返って(お礼) 感謝

今年も大きな5つの幸せをいただきました。

一番の幸せは、大きな事故やケガなどなく、子ども達や教職員全員が日々元気に過ごすことができたことです。日々お心遣いいただいているご家族の皆様にも心より感謝いたします。

二つ目は、「夢プロジェクト」として位置付けた一連の様々な活動を通して、全校が意欲的になり、活発に活動を展開できたことです。ご理解とご協力は本当に有り難いことでした。

三つ目は、本校教職員が「協働」した組織的な学校作りが進んでいることです。教職員が一つになった取組は、小さな学校運営を十倍の大きさ、迫力となって位置付けました。十五名のスタッフ全員の協働の素晴らしさに感謝しています。

四つ目は、地域のお力です。「ふるさと教育」に関わる皆様を含め、地域貢献活動で強力に学校をご支援いただいた企業の皆様、そして、保護者、見守り隊や地域の皆様にもいただいた支援のお心が大きな幸せです。ありがとうございました。

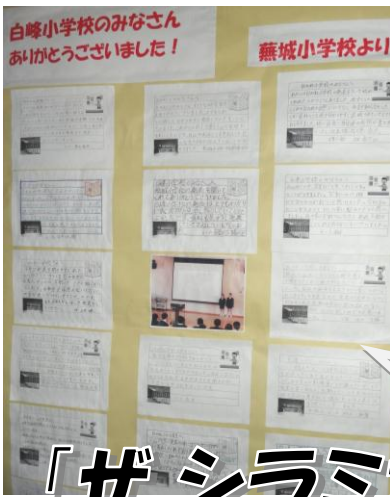
五つ目は、外部機関のお力です。金沢大学の先生方、石川県、白山市それぞれの教育委員会の皆様、支援教育に関わる先生方、そして、「夢プロジェクト」でご支援いただいた各機関全ての皆様のお心に感謝いたします。

「凡事徹底」、「五無主義」を訴え続ける校長は、特に、細かいところ、手抜きやいい加減を絶対に見逃しません。逆に、「努力」、「がんばり」、「意欲」はすぐに目につき、「ほめて、認めて、励まし」続けてきました。「大きな体と大きな声」で校内を縦横無尽に駆ける姿は、よい見方をすれば「率先垂範」を心がけているように見えますが、きつと「目障り、耳障り、心障り」であったことでしょう。「全ては未来を拓き、力強く生き抜く、地域の宝である子ども達のため」に、過分な我慢もあったのではないかと思っております。全ての皆様に、お詫びと共に心より感謝申し上げます。今年最後のお礼のご挨拶といたします。

本当にありがとうございました。益々寒さ厳しい折、ご自愛いただき、どうぞ皆様、よいお年をお迎えください。

十二月 二学期 吉日

白山市立白峰小学校 校長 田村 博久



1-2年生の読書感想画！
素晴らしい出来上がり！

蕪城小学校からお礼のメッセージが届きました。感謝です！

8分間で
ミスなしを

一・三年、四・六年が一緒に朝読書、朝学習に取り組みました。先輩に学んでがんばってほしいな。



「ザシラミネ5」のふりかえり 12月14日(水)

全校のふりかえりを読みました。しっかり考えている様子が、とてもうれしかったです。

- 1 自問清掃** 高学年から低学年に「掃除を教える」、「ふざけることには注意できる」時間や場が必要だと、指摘を受けました。もっともだと思います。よく考えてくれました。さすが6年生！
- 2 ノーチャイムデー** 週1回の実施は好評で、「時間を見て行動」できているようです。一部で、「放送もしない」ノーチャイムに挑戦しようという意見がありました。素晴らしい考えです。益々前進します。
- 3 イングリッシュデー** 全校が楽しく取り組んでいることが分かりました。日常化への一歩が見られて大変よかったですと思います。ALTのジョナサン先生のご協力も大きな力になっています。感謝しています。
- 4 元気な挨拶** 「自分も他人も幸せにできる」魔法の言葉という挨拶の意味が浸透しています。うれしい前進です。地域の皆様から、より多くの称賛の声がいただけるよう推進していきます。
- 5 家庭学習1週間プラン** 一部に「面倒くさい」という意見がありました。自分を自分で鍛える一つの方法であることが行き渡っていないように思いました。ご家庭のチェックにも疑問を呈する子がいました。ご家庭と学校が一体となって「自ら行動し、学習する、意欲的な子どもの育成」に取り組む必要があります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



教科 道徳の現況 ⑪

— 変えていくこと 変えられないこと —

幅は広いものと捉えます。特別の教科と名前が示されている一面を、全ての子ども達の人間性の違いを大切にしつつ、異質性の教育を見つめる教科であるように考えるので「カウンスリングマインド」には重要です。子どもの全てを受容れるところから道徳授業が始まると捉えています。(続く) すなわち、異質性を全員で受容れるのです。

「ねらいは異質である」前提で考えるべきだと思います。その見方の一つは「いつか出会うであろう場はどう考えるか」と子ども達の将来を見据える見方です。「今、わかる」、「そのうち、分かる」、「生涯、出会わない」、「常に、備える」などといった見方です。それほど教科としての道徳の意義、

「ねらいは異質である」前提で考えるべきだと思います。その見方の一つは「いつか出会うであろう場はどう考えるか」と子ども達の将来を見据える見方です。「今、わかる」、「そのうち、分かる」、「生涯、出会わない」、「常に、備える」などといった見方です。それほど教科としての道徳の意義、

二他教科との同一性と異質性
他教科と道徳の同一性は「ねらい」に沿った「評価」が前提となっていることがあげられます。しかし、道徳性の捉え、子ども達の発達段階の捉えから考えると、そのねらいはどこをねらったものなのでしょうか。十人十色の育ち、生活習慣、そして、その子なりのこれからの人生を考える必要があります。

抜粋 平成28年の丁酉...何かを決定するならば、熟考したり、相談したりと慎重に決めるのが良さそうですね。そして、新たな一歩を踏み出すとしても、やがてスムーズに行かない時期が出てくるかもしれません。ですから、いつどうなっても対応できるように、次の策も検討しながら進めていければいいのではないのでしょうか。自分の力に過信することなく慎重に、外部の力をうまく利用する。これで、何も恐れず、進んでいけると思います。
<http://hotdoglab.jp/blog/2017-year-eto/>



ゆく年、くる年を想う

上記の抜粋は、60年前の1957年を振り返りながら、考え方が提示されています。巡り巡って、私たちのこれからの時代をどう考えていく必要があるのかのヒントがありそうです。「不測の事態への対応能力」、次の時代のキーワード、子ども達に必要な生きる力のように捉えています。



みつけ玉を磨く！
がまん玉を磨く！
しんせつ玉を磨く！

ホームページではカラーでご覧になれます。いつでも何なりとお問い合わせください。
〒920-2501 石川県白山市白峰ニ110番地
TEL (076) 259-2009 FAX (076) 259-2188
E-mail shiramine-e02@sc.city.hakusan.ishikawa.jp